



# しばやま FOCUS

フォーカス

町のできごとに  
焦点をあてる



## 「福は内」の声高らかに

芝山仁王尊節分会

元々は「立春」「立夏」「立秋」「立冬」の前日を指し、季節の分かれ目という意味があった“節分”。季節の分かれ目には邪気が生じると考えられ、それを追い払うための悪霊払い行事が現在の節分のルーツとなっています。



2月3日、芝山仁王尊では節分会が行われました。護摩堂での法要の後、三重塔前の舞台では袴姿の年男らが、心を惑わす鬼を豆で追い払い、詰めかけた善男善女に福を分けました。



2



3



4



1

## 食を考える一日

食育農業体験

1月22日、「EAT&GROW」という団体が主催する「おもちつき&ニンジン掘りin芝山町」が開かれました。これは子どもたちの食育を目的とし、当町の堀越賢治さんの協力で実施されたものです。EAT&GROWのメンバーでフードディレクターの遠田かよこさんは「普段農業に関わっていないので、食育と自分たちの勉強を兼ねて開催しました。芝山町は交通の便も良くて東京から来やすいのが魅力ですね」と話してくれました。

- ①ニンジンはどこにあるのかな？
- ②白でもちつきは大苦戦
- ③選果場の設備にビックリ
- ④参加者全員で記念撮影



1月13日 **税金ってなあに**



小学6年生を対象にして行われた「租税教室」。税務課の職員が講師となり、税金の種類や使われ方、なくなったら困る税金の大切さなどを小学生に教えました。

2月11日 **よりよい社会へ**

今回で第10回を迎えた芝山町社会福祉大会。社会福祉に寄与された方の表彰や、小・中学生の福祉コンクール入賞者の表彰、インタビュー作品発表がありました。



2月12日 **芝山に笑いと春を運ぶ**



文化センターで新春寄席が開催されました。トリを飾った三遊亭小遊三さんは、酔っ払い亭主としっかり者のおかみさんの掛け合いが楽しい「替り目」という演目を行いました。

2月15日 **料理修行中**

福祉作業所の利用者が調理実習を行いました。利用者が調理方法を覚えるために年間4回ほど開催しており、献立の決定や買い物も自分たちで行っているそうです。



山武郡市民駅伝競走大会  
**芝山の誇りを胸に**

2月11日、快晴の中行われた第47回山武郡市民駅伝競走大会。山武郡市6市町から7チーム（山武市が2チーム）が参加しました。小学生・中学生・高校生・一般の部から選出された代表が、町の誇りを胸に、一本のたすきをつなぎました。



2分の1成人式  
**10年分のありがとう**

2月3日、芝山小体育館にて「2分の1成人式」が行われました。この行事では、小学4年生が10歳を迎えてできるようになったさまざまなことを披露し、最後は参観していた家族へ手紙をプレゼント。「今までありがとう」と「これからもよろしく」という2つの気持ちが詰まったセレモニーに、心温まる一日となりました。